



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた・ギアリングの架ける虹」より
里の春 内田 新哉

<会長の時間>

5月19日日曜日のインターアクト委員会のスカイパーク公園整備事業の前準備で、先日の日曜日に杉山さんの会社の敷地をお借りしまして、飛騨高山高校のインターアクト部の荒川先生と生徒さん11名そして当クラブは事務局と8名に参加頂き総勢20名で、当日使う横木と杭の防腐剤塗りを行いました。参加頂いた皆様ありがとうございました。横木70本杭40本ほどを2度塗り3度塗りしましたが、人数が多かった事もあって2時間ほどで終る事が出来ました。そしてその後行ける方で現地に行き、一か所だけ作業をしてみました。思ったより土も柔らかかったので、本番もなんとか出来るなと思ったところです。



当日は木材を提供してくれました山田校舎の環境科学科の生徒さんも参加してくれますので、是非多くの会員に参加頂いて、気持ちの良い汗を書いて頂ければと思います。尚外の作業でございますので、天候が心配な処ですが、詳しくはこの後杉山委員長より案内をして頂きますので宜しくお願いします。

さて当クラブではこの様に随分以前から、飛騨高山高校のインターアクト部のホストクラブとして活動しておりますが、同じような活動として『ロータリーアクトクラブ』が有ります。これは皆さんご存知の処だと思いますが、もう一つ「ロータリー地域社会共同体」と言う取り組みが有る事をご存知でしょうか。私は知らなくて、今年度のロータリー賞の中に「ロータリー地域社会共同体を提唱する」との項目が有り、知った処です。

これは、RCCと訳されており、ロータリアン以外の人のびとが、ロータリーの取り組みに賛同し、地域社会のためにボランティア活動をするグループとうたっています。地元根ざしたグループと言う事で、地元に住み、地元のニーズに応えるために、地元の人材を駆使して奉仕プロジェクトを行う共同体と言う事です。「提唱する。」とありますので、スポンサークラブになる必要が有りますし、マイロータリーでも「RCCを結成して、地域社会のために活動しましょう。最寄りのRCCにお問合せ下さい」と呼びかけていますので、スポンサークラブとして事業と一緒に、グループを拡げて行くなど深い関わりが必要になって来るように思います。

調べますと現在、世界100カ国に10,000を超えるRCCがあります。活動も様々で、ナイロビでは、エイズ孤児のための居住施設をつくり子どもたちの世話をしていたり、半田市では半田RCCが、地元の学校と協力して防災教室を実施するなど啓発活動をされていたりと様々なようです。

こうして新しいボランティア団体を立ち上げて協働で活動して行く事も大切な事だと思いますが、この高山にも様々な団体が有りボランティア活動されている方達が多く見えます。そう言った方達と連携・協力して活動の輪を拡げて行く。例えば本年度行いました、社福協の「福祉フェスティバル」に参加させて頂いた様な活動を、拡げ充実して行く事も大切に思います。

<幹事報告>

- ◎RI日本事務局より
 - ・5月のロータリーレートについて
1ドル 112円 (現行110円)
- ◎次期地区幹事より
 - ・2019年地区研修協議会修了証書およびクラブ主要事業集 拝受



◎ガバナー、地区インターアクト部門委員長より

- ・韓国第3600地区年次大会交換交流派遣学生募集案内
 - 期間 7月24日(水)~7月28日(日)の5日間の予定
 - 場所 韓国第3600地区京畿道地域(ソウル近郊)
 - 負担金 60,000円 申込締切 5月17日(水)必着
 - 選考日 5月26日(日)13:15~ ホテルグランヴェール岐阜

◎ガバナー事務所より

- ・「ロータリーデー2750 フェスタ2019」ご案内
 - 日時 5月12日(日) 10:00~
 - 場所 アーク・カラヤン広場 東京都港区赤坂

<受贈誌>

高山中央RC (会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36名	3名	39名	40名	97.50%
本日	34名	-	34名	40名	85.00%

<本日のプログラム>

米山奨学委員会

委員長 阪下 六代

本日の担当例会には、地区米山記念奨学部門委員会 委員長の村瀬 祐治 様にお越し頂きました。奨学生を支える寄付について、普通寄付は会員各位の年会費および特別会費より行っております。特別寄付についても随時受け付けておりますのでご協力をお願いいたします。



卓話は当クラブにおいて次期4月より米山奨学生の受入クラブとなります件を中心にお話頂きます。村瀬様よろしくお願ひいたします。

インスピレーションになろう

例会報告



国際ロータリー第2630地区米山記念奨学部部門委員長 村瀬 祐治 様

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本公益のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源はすべて会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリーからも国内34地区の地区合同活動として認められています。歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同活動となっております。

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2018年4月採用の奨学生数は全国で852人(枠)、事業費14億円、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界127の国と地域からの留学生2万396人を支援しています(2018年7月現在)。

ロータリー米山記念事業は貧しい留学生への支援が目的ではありません。勉学への真摯な姿勢を持ち、将来有望な留学生に平和を願う日本人の心、家族のような温かさ、そしてロータリー精神を伝えています。奨学生はそれぞれの道に進み、あるものは母国の発展に尽くし、またある者は自ら体験した日本を母国の若者たちへ語り伝えています。ロータリー米山記念事業は、未来へ向かっての平和の架け橋を掛ける『平和への人づくり』で国際奉仕事業です。

米山奨学事業の目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブ「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。

奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となるのが期待されます。ロータリアンと奨学生との交流の中で、お互いに刺激しあう関係こそがこの事業の特長であり、その源が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

奨学生、ロータリアン双方にとって、大きな感動を生む事業だからこそ、50年以上も継続し、全国規模に発展、財団法人の設立に至り、民間最大の国際奨学事業に成長しています。どんな奨学生を採用したかで奨学事業の価値が決まると言われますが、当会の事業はさらに、どんな奨学生に育てくれたか、育てたか、かかわります。担い手は、世話クラブとカウンセラーです。

カウンセラーの役割は、原則月1回の例会訪問の日時調整です。奨学生は自分で例会場まで来ます。例会場まで交通機関がない場合、近くの駅まで送迎いたします。また奨学生を受付担当や会場準備・監督(SAA)に充てるRCもあります。奨学生は来訪者ではなくクラブメンバーの扱いです。カウンセラーはクラブ会長経験者でなくてもでき、奨学生とフレンドな交流ができ役得だと思います。

毎月の奨学金は、事前に公益財団法人ロータリー米山記念奨学会からクラブへ振り込まれます。クラブの立替金はありません。

また、世話クラブへ補助金が年間4万円(7月頃)、世話クラブの負担は少ないと考えております。交通費については、地区からの補助金があります。

奨学生は大学の宿泊寮に住んでいますので、ホームステイ先を見つける必要はありません。

奨学金は、メンバー3,100余りが一人当たり約10,621円寄付して留学生に支援しています。また、寄付額によって奨学生の人数が割り当てられる(2019年度16名)。

学部…月10万円、修士・博士…月14万円(共に12ヵ月支給)

奨学金の受渡しについては、4月分は地区オリエンテーションでお渡しします。5月～次年3月までは、毎月世話クラブ例会に出席して受け取る。(11回)振込はしない、月訪問を欠席した場合、翌月に2ヵ月分は渡さない。(1回訪問に1回奨学金)

地区75RCのメンバーに米山記念奨学制度についてご理解・ご支援して頂くために、世話クラブの依頼は、大学からの距離・クラブ人数に配慮なくすべてのRCに順番に依頼させていただきます。事前説明会を11月3日に開催します。

2020年4月から受入RCの準備としては、予算として例会訪問時の食事代(5月～翌3月までの11回分)、交通費(大学所在駅から例会場所在駅まで11回分)、地区大会登録費等。補助金は地区より7月に振込となりますので、銀行の通帳を作成いただけます。

11月までにカウンセラーを選出して頂き、研修会を4月と9月に開催します。

<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区米山記念奨学部部門委員長 村瀬 祐治 様
平素より米山記念奨学会にご理解・ご支援を頂きありがとうございます。本日米山奨学生の卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日ゲストとしてお忙しい中お越し頂きました国際ロータリー第2630地区米山記念奨学部部門委員長 村瀬祐治様ようこそお越し頂きました。後ほどの卓話楽しみにしております。宜しく申し上げます。先日インターアクト委員会の遊歩道整備事業の前準備に協力頂きました皆様ご苦勞様でした。お陰様で現場合わせもしっかり出来、後は当日晴れる事を願うばかりです。当日も多くの参加をお願いいたします。また会社敷地を貸していただきました杉山委員長有難うございました。

●阪下 六代さん

地区米山記念奨学部部門委員長 村瀬祐治様のご来会を歓迎いたします。ご多忙の中快く卓話をお引き受け下さりありがとうございます。よろしくお願いいたします。

●伊藤 松寿さん、挟土 貞吉さん

地区米山記念奨学部部門委員長の村瀬様のご来訪を歓迎します。ご指導よろしくお願いいたします。

●内田 幸洋さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん
第2630地区米山委員長の村瀬さんのご来訪を歓迎します。本日のスピーチ楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

●小森 丈一さん

平成最後の例会となりました。平成と令和が重なって平和と書いてしまいました。平和な御代であります様に。村瀬地区米山委員長の来訪を心から歓迎致し、勉強させていただきます。

●伊藤 松寿さん、平 義孝さん、斎藤 章さん、遠藤 隆浩さん、
鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、住田 泰典さん、黒木 正人さん、
田邊 淳さん、萱垣 敬慈さん、

本日は平成最後の例会です！平成という時代に感謝を込めて…。

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

先週4月19日宝生閣さんで行われました現・次期の引き継ぎ会に関係者方ご参加いただきありがとうございました。色々なお話が出来て大変中身の濃い会になったと思います。スタートまであとわずかとなりました。さらに気を引き締めて行きます。ご指導お願いします。

インスピレーションになろう